

令和 6 年度 第二次編成予算における観光関連事業について

令和 6 年度予算のうち「第一次編成予算」では、令和 6 年度当初から速やかな着手が必要な事業として、義務的な事業や継続事業に加え、迅速に対応が必要な観光課題対策等の予算を計上。

「第二次編成予算」では、社会課題への対応のため速やかに着手できる事業等として、市民生活と調和した持続可能な観光の実現に向けた各種の事業を予算計上している。

(以下、産業観光局分を記載)。

(第二次編成で計上した新規・充実事業)

1 手ぶら観光の推進に向けた宿泊施設等巡回バス導入実証事業【6,900 千円】**新規**

京都駅を起点に市内宿泊施設等を巡回する、大型手荷物の持ち込みができる専用バスの導入により、大型手荷物を携行する観光客に対し、宿泊施設に手荷物を預けてから観光する「宿泊施設を起点とした観光」という、手ぶら観光の新たなスタイルの構築に向けた実証事業を行う。

2 手ぶら観光の推進【7,200 千円】**充実** (全体事業費 11,200 千円のうち充実分)

(1) 「HANDS FREE KYOTO」の運用

旅館・ホテル・土産物施設等のうち、手荷物の預かり・配送サービスを行っている事業者には、「HANDS FREE KYOTO」へのサービス登録を促すとともに、手荷物の預かり・配送サービス窓口や京都駅周辺のコインロッカーの情報を多言語で発信する。

(2) 臨時手荷物預かり所の設置及び運営

秋・春の観光シーズンにおいて、京都駅周辺で臨時手荷物預かり所の設置・運営を行い、手荷物の預かり及び宿泊施設への配送に対応するとともに、事前予約システムを活用し、利用者の拡大を図る。

3 市民生活と調和した持続可能な観光促進に向けた海外プロモーション強化事業

【41,800 千円】**新規**

(1) 海外有力メディアを活用した情報発信

政策面に関心の強い、政治や経済などの幅広い時事を扱う海外有力メディアを対象とし、観光課題対策や京都観光モラル等の報道等につなげるための働きかけを行う。

(2) 海外インフルエンサーの発信力を活用した情報発信

近年、観光情報を収集する手段として SNS の利用が増加傾向にあることから、宿泊日数が長く、消費単価が高い欧米豪、また、リピーターが多い台湾、中国、韓国を対象に、SNS での強力な情報拡散が期待できるインフルエンサーを通じて情報を発信する。

(3) 中国（上海）における海外情報発信・収集拠点の開設

リピーターが多く、特に外国人宿泊客の国別割合が高い中国において、海外情報発信・収集拠点を設置することで、中国国内の情勢が観光に与える影響をいち早く情報収集するとともに、効果的な情報発信を行う。

4 「観光効果の見える化・観光への市民共感」促進事業【9,100千円】**新規**

(1) 市民向け専用サイトの作成

宿泊税を活用した事業効果や観光による経済効果等を市民に分かりやすく伝える専用サイトを作成し、観光がもたらす効果の見える化を促進する。

(2) 観光関連事業者による市民向けサービスの導入促進

割引特典等の市民向けサービスを主体的に提供する事業者の情報を取りまとめ、上記サイトにおいて発信し、事業者による市民向けサービスの導入を促進する。

(3) 市民による市内観光・京都の魅力再発見の促進

京の夏の旅・冬の旅の定期観光バス特別コースをはじめとする各種事業に市民を招待し、京都の魅力を再発見する機会としていただく。

5 多様なエリアにおける魅力発信事業【25,200千円】**充実**（全体事業費41,700千円のうち充実分）

(1) 「とっておきの京都」エリアの情報発信

ウェブサイトにおける情報発信や、各エリアの特性に応じた観光コンテンツの造成・PR、民間事業者等が行う実証事業への支援を行う。また、外国人観光客への情報発信を強化するため、ウェブサイトの多言語化を行う。

(2) 府市連携による周遊観光の促進

府市の多様なエリアの魅力を活かした周遊観光ツアーを造成し、効果検証を行うとともに、旅行事業者等向けのファミトリップ等を実施する。

(3) 局所的な混雑が発生しているエリア内の集中緩和

嵯峨嵐山エリアにおいて、定番ルートやスポットに集中しがちな観光客に対し、比較的混雑していないエリアへの回遊を促すため、デジタルマップを作成し、複数のモデルコースの紹介やスタンプラリー、ライブカメラ映像の配信、混雑予測箇所の明示等を行うことで、混雑していない箇所への誘導を図る。

6 分散化の推進と観光の満足度向上のための朝・夜観光等コンテンツ造成事業【16,000千円】**新規**

文化・芸術をはじめとした、京都の多彩な魅力を活かした朝・夜観光コンテンツの造成や、情報発信の取組を一層推進する。

特に、市民や観光客が夜に京都の文化・芸術に触れる機会の創出や、人々の交流による京都の新たな夜の価値創造につながるコンテンツの造成に重点的に取り組む。

また、ノウハウや人手不足等により、文化財等の特別公開や観光コンテンツの提供などの実績がない寺社や事業者等に対しては、コンテンツ造成の検討段階から当日の運営まで一貫した伴走的なサポートを行う。

7 世界遺産をはじめとした文化財における高付加価値な文化観光推進事業【8,200千円】**新規**

登録から30周年を迎える世界遺産「古都京都の文化財」をはじめとした文化財において、時間外の拝観や飲食など、特別な体験がセットになった観光コンテンツを造成するとともに、観光客や観光事業者等を対象にモニターを募集する。

その後、モニターからの評価や助言等を踏まえた効果分析を行い、寺社や事業者等による高付加価値な観光コンテンツの安定的な造成・供給へつなげるとともに、特別体験の提供による収益の一部を文化財の維持継承に還元する仕組みの構築を促す。

(参考) 第一次編成で計上した新規・充実事業)

1 観光マナーをはじめとした観光課題対策に対する啓発事業【20,000千円】充実

(全体事業費 30,600千円のうち充実分)

(1) 事業者主体のマナー啓発の支援

市内の観光関連事業者等に「MIND YOUR MANNERS」のポスターを配布し、掲出を呼び掛けるほか、外国人観光客にマナーを伝えるフレーズ集を新たに作成し、それを活用した研修を実施する。

(2) マナー啓発コンテンツの拡充

「MIND YOUR MANNERS」の日本語版や、マナー等の啓発を盛り込んだ多言語による観光地図を作成し、国内外の観光客に対するマナー啓発を一層進めていく。

(3) 一部の地域における観光マナー啓発

マナー問題が市民生活に影響を及ぼしている一部の地域に啓発員を配置し、現地啓発を実施する。

(4) 観光シーズンにおける観光マナーをはじめとする観光課題対策に資する周知・啓発

春及び秋の観光シーズンに、デジタル広告や交通広告を活用し、旅マエから旅ナカまでの一貫した観光マナー等の啓発を重点的に実施する。

2 観光バスの路上滞留対策等強化事業【6,000千円】充実 (全体事業費 7,000千円のうち充実分)

(1) 観光バス路上滞留に係る巡回調査

市内における観光バス路上滞留発生箇所の巡回調査を実施する。

(2) 路上滞留している観光バスへの現地啓発及び実態把握

巡回調査の結果を踏まえ、啓発員を配置し、路上滞留している観光バスに対する駐車場への誘導や、観光マナーに関する要請文の配布を行う。

(3) 観光バス路上滞留対策看板の保守管理

観光バス向けの啓発看板(路上滞留が発生している道路沿いに設置)のメンテナンスや整備を行う。

3 宿泊事業者の担い手確保等支援事業【8,000千円】新規

(1) 宿泊業界の魅力発信

特設ウェブサイトにおいて、宿泊業界で働く魅力や学べること等の情報発信を行う。また、宿泊事業者の経営や雇用環境づくりに関する好事例を広く発信し、事業者に参考にしていただくことで、よりよい雇用環境づくりの機運を醸成する。

(2) 研修・交流事業

担い手確保や生産性向上等をテーマとした宿泊事業者向けの研修や、学生等と宿泊事業者の交流会を実施する。